

9月議会

市長提案の補正予算に賛成 日本共産党

産後ケアなど子育て支援増額

今議会、市長から、子育て支援の拡充予算として、出産後の妊婦と新生児のためのケア事業費の大幅増額、妊産婦に対する国保保険料の免除制度を新設する経費などが提案されました。

また、市内最大の市営住宅で

ある六泉寺市住の建替え(令和10、12年度予定)についての民間活力導入調査費については、子育て世帯、単身高齢者世帯向けの拡充など、市民ニーズを取り入れた計画づくりへの義務的な経費も提案されました。

これらの補正予算は、全会一致で可決、成立しました。

今議会は、令和4年度の決算についても採決されました。

100億円を超える黒字となっている水道事業の決算については、低所得者等への料金減免制度実現などを提案しつつ賛成しました。

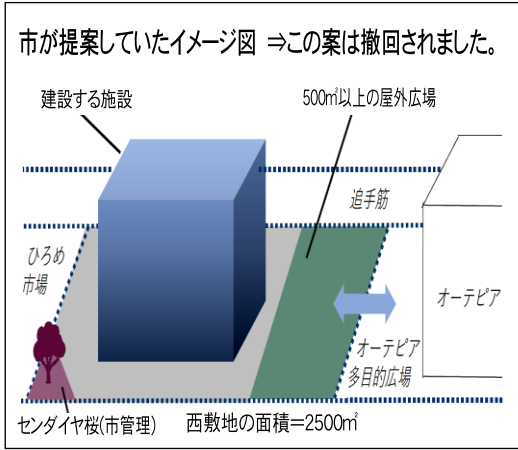
一方、西敷地事業で実施事業者を選定しなかったのに、選定後に必要となる委託業務費についても、議会に十分な説明もなく支出している点については、認定できない旨を表明し、反対しました。



西敷地 問題

自由に使えるイベント空間―広場としての整備求める

マンション、ホテルと二度にわたって計画がとん挫した西敷地活用事業。



前回、公募時の市の資料より

岡崎市長が6月議会で、広場としての暫定整備に言及していたにもかかわらず、担当部局が「中止」としたことについて、「庁内の意思疎通が不十分であった」との答弁を確認した上で、改めて広場としての整備を求めました。

市長は、再度市民アンケート(市民3千人抽出)を実施し、市民の回答結果を尊重した整備をすすめるとの姿勢を示しています。

◆◆日本共産党の質問から◆◆

六泉寺市住の建替え

基本構想で、現在の412戸から大幅に削減する案について質問。

担当部長は、「現入居者に加えて、廃止予定の長浜など南部地域の市営住宅入居者にも意向を聞き、それらをプラスして最終的に戸数を検討していく」と答弁しました。

要望の多い、子育て世帯や単身高齢者向き住宅の十分な確保を求めたのに対して、入居者や地域の意見を聞きながら検討すると答弁しました。



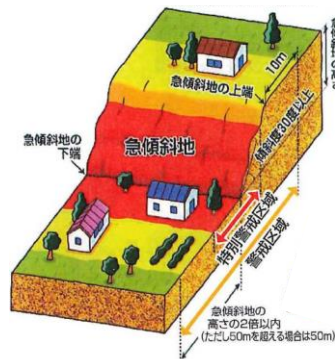
潮江の六泉寺市営住宅。市は令和10～12年度完成に向けて建替えをすすめる計画です。



崖崩れ予防予算増額へ

民家の裏山のがけ崩れ予防等の事業について、要望の申請から3、4年待ちとなっている事業予算の増額を質問。

担当部長は、「現在の待機状況から予算増額は必要と認識しており、予算要求に努める」との答弁がありました。



「香害」被害への対応を

合成洗剤や柔軟剤などに含まれる香料などの化学物質によって、健康被害がうまれていきます。抗菌・消臭成分でも体調が不良になる方がいます。学校や保育所など、市民への啓発ができませんか。

教育長・担当部長は、「市として対応を始めたい。ホームページ、ポスター、チラシなど工

生徒に生理休暇制度を

児童生徒の多くは、生理では学校を休めないといふ。アンケートに回答している。登校し具合が悪くなり倒れた...といった実態もあります。

小中・高校生にもヘルス休暇のような生理休暇制度の導入を質問。教育長は、「大切な考えであり生理等に配慮した学校の取組みを支援していく」と答弁しました。

「指導主事」より担任を

クラス担任など教員の欠員がある一方で、教員を「充て指導主事」として教育委員会に配置している問題について、欠員を解消し、現場の教員を優先すべきではと質問。

教育長は、「教員の欠員も発生しているが、学校や教職員に指導助言を行うことは、子どもたちの学力保障につながっている」と答弁しました。

日本共産党と 市民の声が、市政を動かす

中卒まで医療費無料 来年度実施へ 岡崎市長表明

中学校給食の実現につづき、子ども医療費無料化が、中学卒業までに拡充されます。

9月議会で、岡崎誠也市長が、明確に答弁しました。

この間、6000筆を超える署名が寄せられるなど、市民の切実な要望となっていました。こうした市民の声が市政を動かす、市長の実施表明へとつながりました。

高知市は、来年度以降、これまでの大型事業による借金返済が減少し、その分、暮らしの予算を確保することも可能となっていきます。

介護保険料の引き下げを

高齢者に負担感の大きいのが介護保険料ですが、高知市の介護事業の決算では、3年間でなんと25億円もの黒字となっています。

つまり、保険料が高すぎて、余っているということです。

来年度は、この保険料の改定年であり、大幅引き下げを求める質問を行いました。

高知市の保険料は、他都市と比べると少し安く設定されていますが、さらに引き下げを求めています。

四国の県庁所在地の
介護 標準保険料
(月額)

	令和3~5年度
高知市	5,936円
徳島市	6,680円
高松市	6,633円
松山市	6,650円

岡崎市政の20年をどう見るか

民主党から持ち込まれた

日本共産党「利権がらみ」と対決、福祉向上の施策は後押し



市民要望を岡崎市長へ手渡す、日本共産党市議団

岡崎市長5期目の最後の議会となった9月市議会。各党派が、岡崎市政の評価を問う論戦がおこなわれました。

岡崎氏は、1期目の選挙では、民主党の推薦はありませんでしたが、2、4期目は民主党からも推薦を受けました。その中で様々な利権がらみの事業を市の事業としてすすめるようとする画策もありました。

一方で、「福祉は私のライフワーク」とする市民の要望にそった様々な制度も着実に前進させてきました。

日本共産党は、浦戸「道の駅」

や鏡地区での石灰鉱山開発など、特定の業者の利権に関わって、巨額の税金をつぎ込ませようと、自民党勢力から持ち込まれた策動に対しては、市民と共に立ち向かいストップをかけるとともに、ゴミ袋有料化などの市民負担増なしの財政再建、中学校給食の実施や子どもの医療費無料化の拡充、生活相談支援センターの取組みや、パートナー制度などの人権施策など、市民の暮らしを守る取り組みでは、議会の論戦をリードし、実現の後押しをするという、是々非々の立場をつらぬいてきました。

暮らしを守る市政への挑戦

岡崎市政の20年は、氏原・坂本・横山市長と高知市で長く続いた革新・民主の市政を土台としながらも、自民勢力が持ち込む「利権がらみ」の画策が市政を歪める負の側面をあわせもった市政でした。

自民勢力から持ち込まれていた負の側面である「利権がらみ」の画策を断ち切れば、国の悪政から市民の暮らしを守る市政への前進が展望できます。

高知市 (日本共産党)
市議会ニュース
2023年 秋号 (9月議会報告)

©日本共産党市議団 TEL823-9404/fax823-9558



下本ふみお



さこ 哲郎



浜口かず子



宮本なおき



岡田はるか



ふじき真由美